



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月29日

上場会社名 NCS & A株式会社 上場取引所 東
コード番号 9709 URL <https://ncsa.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 隆博
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員常務 経営戦略室長 (氏名) 小林 裕明 (TEL) (06) 6443-1804
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	16,430	12.2	2,065	50.7	2,144	51.2	1,453	65.4
2025年3月期第3四半期	14,644	6.7	1,370	11.8	1,418	11.5	879	6.3

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,581百万円(61.8%) 2025年3月期第3四半期 977百万円(3.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	92.31	—
2025年3月期第3四半期	54.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	19,932	13,588	68.2
2025年3月期	21,320	14,226	66.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 13,588百万円 2025年3月期 14,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2026年3月期	—	25.00	—		
2026年3月期(予想)				30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,300	3.9	2,600	30.4	2,730	29.4	1,850	△12.3	118.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期3Q	18,000,000株	2025年3月期	18,000,000株
2026年3月期3Q	2,712,143株	2025年3月期	1,818,453株
2026年3月期3Q	15,749,802株	2025年3月期3Q	16,147,665株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する中で緩やかに回復し、企業の設備投資においても持ち直しの動きがみられました。しかしながら、米国の通商政策の影響や金融資本市場の変動など、景気の下振れリスクには注意が必要であり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業におきましては、経済産業省が警鐘を鳴らした「2025年の崖」を背景に、古い基幹業務システムを刷新する動きが本格化しております。加えて、デジタル利用を前提とした制度の施行や労働力不足をきっかけに、大企業のみならず、中堅・中小企業においてもIT活用の重要性は高まりがみられます。これらのことから、幅広い産業分野・規模にわたる企業のIT投資は増加し、市場環境は堅調に推移しております。

このような環境のもと、当社グループは「真に世の中から必要とされる会社」を目指して、成長に向けた積極的な投資として主力ソリューションの強化と「社内スタートアップ制度」（研究開発を通して新しい事業の芽を創出する活動）による事業創出活動を積極的に推進しております。

企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）推進に寄与するために、マイグレーションサービスにおいて、共通するタスクの集約化を行う「マイグレーションセンター」化を進めております。この取り組みにより、同時並行するプロジェクト数が順調に増加いたしました。さらに、新しい技術への挑戦として「社内スタートアップ制度」にて生成AIについての研究を行いました。この研究の一環として、システム可視化ソリューション「ReverseNeo（リバースネオ）」へ生成AIの組み込みを検討しました。その結果、処理フローや処理概要を自動生成する機能が実現し、2025年4月に新しいバージョンをリリースしました。また、従業員に対して「生き生きと活躍できる環境の構築」を継続して進めており、前年に引き続き2025年6月より平均5%の給与水準の引き上げを実施しました。加えて、2025年10月に「物価高対策特別手当」を全従業員に支給いたしました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は、前年同四半期に比べ17億86百万円増収の164億30百万円となりました。利益面につきましては、利益率の高い自社製品によるソリューション及び高収益案件への注力を続けることにより営業利益は前年同四半期に比べ6億95百万円増加の20億65百万円、経常利益は前年同四半期に比べ7億25百万円増加の21億44百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期に比べ5億74百万円増加の14億53百万円となりました。

当社グループは、ITサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績の記載を省略しております。なお、売上分類別の概況は次のとおりです。

<自社製品によるソリューション>

マイグレーションサービスの保険会社向け大型案件が順調に進捗いたしました。また、自治体向け給付金システム「The給付」においては、アライアンス先との協業が拡大したことにより導入自治体数が伸びました。その結果、自社製品によるソリューションの売上高は前年同四半期に比べ9億48百万円増収の48億65百万円となりました。

<システムインテグレーション>

生産管理システム「Factory-ONE 電脳工場」の導入・カスタマイズ案件や、ホテル業向けシステム開発などの売上が堅調に推移しました。しかしながら、開発から保守フェーズへ移行する案件が重なったことで、システムインテグレーションの売上高は前年同四半期に比べ1億28百万円減収の58億87百万円となりました。

＜機器・パッケージ＞

コンピュータ機器及び周辺機器、パッケージソフトウェア等の売上のうち、他の開発・サービスを伴わない機器・パッケージ単体の販売による売上高は、前年同四半期に比べ3億11百万円増収の17億97百万円となりました。

＜受託開発＞

大手SIerからの受託開発につきましては、当社の得意分野にリソースを集中させることによる収益性の向上に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間におきましては官公庁向けシステム開発の受注が順調に推移いたしました。その結果、受託開発の売上高は前年同四半期に比べ6億53百万円増収の38億81百万円となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は199億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億88百万円減少いたしました。流動資産は157億37百万円となり、15億12百万円減少いたしました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の増加（2億71百万円）、現金及び預金の減少（18億46百万円）であります。固定資産は41億94百万円となり、1億23百万円増加いたしました。主な要因は、無形固定資産の増加（2億27百万円）、投資有価証券の増加（1億69百万円）、繰延税金資産の減少（2億67百万円）であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は63億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億50百万円減少いたしました。流動負債は41億22百万円となり、7億23百万円減少いたしました。主な要因は、未払金の増加（2億45百万円）、賞与引当金の減少（5億50百万円）、未払法人税等の減少（4億63百万円）であります。固定負債は22億21百万円となり、26百万円減少いたしました。主な要因は、退職給付に係る負債の減少（18百万円）、リース債務の減少（8百万円）であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は135億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億38百万円減少いたしました。主な要因は、利益剰余金の増加（4億20百万円）、その他有価証券評価差額金の増加（1億18百万円）、自己株式の増加（12億2百万円）であります。

なお、自己資本比率は、前連結会計年度末の66.7%から68.2%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2025年9月25日に公表いたしました連結業績予想と変更はございません。

（注）業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,153,862	9,307,450
受取手形、売掛金及び契約資産	5,318,810	5,590,148
商品	475,367	372,939
仕掛品	39,346	59,996
その他	263,021	407,422
貸倒引当金	△70	△60
流動資産合計	17,250,339	15,737,897
固定資産		
有形固定資産	381,236	412,260
無形固定資産	813,616	1,041,574
投資その他の資産		
投資有価証券	1,100,280	1,270,217
繰延税金資産	1,227,092	959,115
差入保証金	435,695	421,522
その他	154,685	98,212
貸倒引当金	△42,291	△8,790
投資その他の資産合計	2,875,463	2,740,278
固定資産合計	4,070,315	4,194,113
資産合計	21,320,655	19,932,011

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	934,449	567,790
リース債務	20,688	12,688
未払金	1,127,170	1,372,886
未払法人税等	616,083	152,590
賞与引当金	1,556,366	1,006,076
役員賞与引当金	55,480	50,150
受注損失引当金	9,694	8,925
その他	526,128	951,334
流動負債合計	4,846,060	4,122,441
固定負債		
リース債務	9,278	1,032
退職給付に係る負債	2,216,747	2,198,120
長期未払金	21,970	21,970
固定負債合計	2,247,995	2,221,123
負債合計	7,094,055	6,343,564
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,775,100	3,775,100
資本剰余金	4,034,012	4,050,068
利益剰余金	6,578,677	6,998,836
自己株式	△799,729	△2,002,031
株主資本合計	13,588,060	12,821,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	449,520	567,982
為替換算調整勘定	46,965	41,286
退職給付に係る調整累計額	142,052	157,205
その他の包括利益累計額合計	638,539	766,473
純資産合計	14,226,599	13,588,446
負債純資産合計	21,320,655	19,932,011

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	14,644,744	16,430,914
売上原価	10,172,711	11,050,218
売上総利益	4,472,032	5,380,696
販売費及び一般管理費	3,101,421	3,314,897
営業利益	1,370,611	2,065,798
営業外収益		
受取利息及び配当金	32,272	51,189
助成金収入	10,878	9,970
その他	9,529	20,149
営業外収益合計	52,680	81,309
営業外費用		
支払利息	358	176
為替差損	4,387	1,719
その他	144	1,112
営業外費用合計	4,890	3,008
経常利益	1,418,401	2,144,100
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	586	-
特別利益合計	586	-
税金等調整前四半期純利益	1,418,987	2,144,100
法人税、住民税及び事業税	243,742	483,704
法人税等調整額	296,195	206,533
法人税等合計	539,937	690,237
四半期純利益	879,050	1,453,862
親会社株主に帰属する四半期純利益	879,050	1,453,862

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	879,050	1,453,862
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,178	118,461
為替換算調整勘定	3,536	△5,679
退職給付に係る調整額	21,610	15,152
その他の包括利益合計	98,325	127,934
四半期包括利益	977,376	1,581,796
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	977,376	1,581,796
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ソフトウェア開発を中心とするコンピュータ関連総合会社で、コンピュータ関連機器販売及びソフトウェア開発の両面を事業分野としております。

顧客の利用目的に応じたコンピュータ機器の選定とソフトウェア開発を主とするITサービスを事業内容としており不可分の営業形態の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月19日開催の取締役会決議に基づき、自己株式913,800株の取得を行っております。この結果、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が1,212,978千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が2,002,031千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	193,812千円	227,364千円